

爽やかな汗を流せば
笑顔の花咲くミニスポーツ祭
スポーツの力でまちを元気に
それが見能林体協流のまちづくり



見能方、津乃峰、大潟、中林の4地区からなる見能林地域は、スポーツ活動に熱心な地域としても知られている。その核となっているのが見能林体協の皆さん。各種大会をはじめ、さまざまな行事に参画し、スポーツの分野から地域に活力を注いでいる。なかでも体協主催のミニスポーツ祭は、三世代が集う地域間交流の場として親しまれ、今年も100人を超す親子連れがスポーツゲームを楽しんだ。会長の福長晶司さんは「ふれあいのなかで何かを感じ取ってほしい。」と、連帯感の醸成に期待を寄せている。

ミニスポーツ祭は、3年前まで行われていた分館別親睦ボーリング大会を受け継ぐ形で始まった。ボーリング場から譲り受けた数本のピンは、今も地域交流の場で愛用されている。白い衣に刻まれた傷跡の一つ一つに、豊かな人間関係の構築と健康増進の思いが染み込んでいる。

スポーツの魅力を人づくり、まちづくりに生かしていく。見能林体協のユニークな取り組みが、地域住民の新たな結束力を生み出している。

